

高齢期に安心して住める住まい・まちづくり



【極楽学区】

■世帯数：3,474 世帯

■人 □：8,047 人

■面 積：1.222 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 極楽コミュニティセンターを会場に、高齢者との対話集会を企画し、悩み相談事業を実施。
- ・ 名古屋市住宅都市局の要請で極楽第3自治会および第4自治会をモデル地域として「高齢期の住まい・住み替えニーズ」に関するアンケート調査を実施。

【住民へのPR方法】

アンケートの実施

【アピールポイント】

近年、高齢者の一人暮らしや高齢夫婦世帯が増加しており、子どもと一緒に建った住宅を継続使用しているが、広すぎて管理に困っている方が多く、住み替えなどの支援が必要。

2 きっかけ、背景

猪高緑地に防災倉庫を2ヶ所設置し、大地震などの災害時の炊き出し用品、水、その他一時的な支援のための備品を整備したことをきっかけに、災害時の住まいについて議論を行った。その中で高齢者の住まいについて考えるようになった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長

(2) 他団体との協力

名古屋市住宅都市局住宅企画課
及び市が協力依頼している大学

4 実施のスケジュール

H24年
9月 アンケートの実施



10月 アンケートの分析（名古屋市および大学にて実施）



H25年 アンケート結果に応じて、相談会
などを開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

高齢者の住まいに関する悩み事が多く、また住み替え要望が多いことが分かった。

(2) 苦労した点

国による住み替え支援制度はあるが知られていない。

(3) 今後の課題・展望

制度のPRが必要。高齢期の住まいに関しては市のバックアップが必要と考えている。

